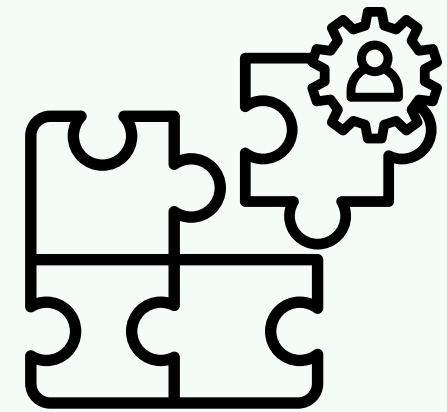


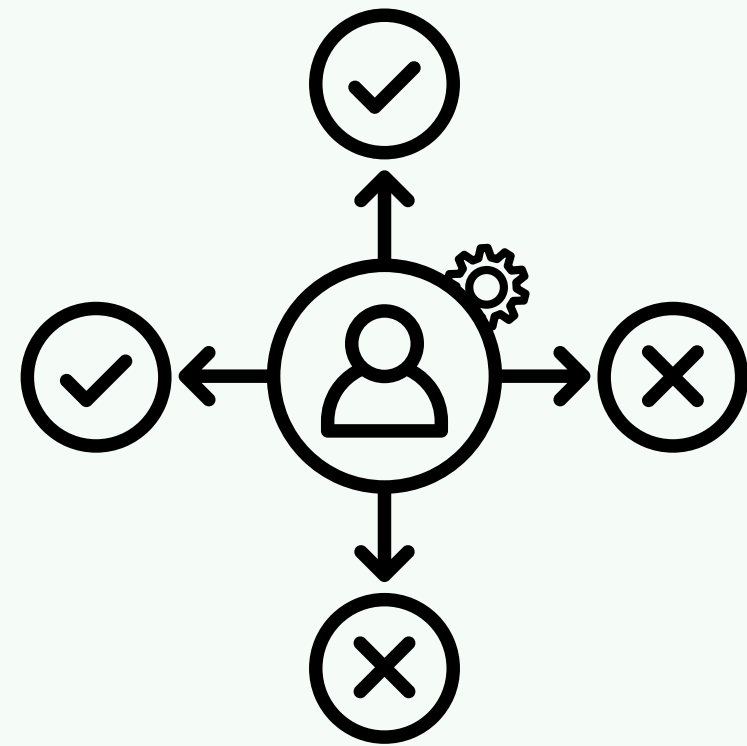
令和7年5月11日(日)



「ゆたかっ子」 学力向上に向けて



ゆたか小学校学力向上推進部



1 ゆたか小 学力向上推進の目標

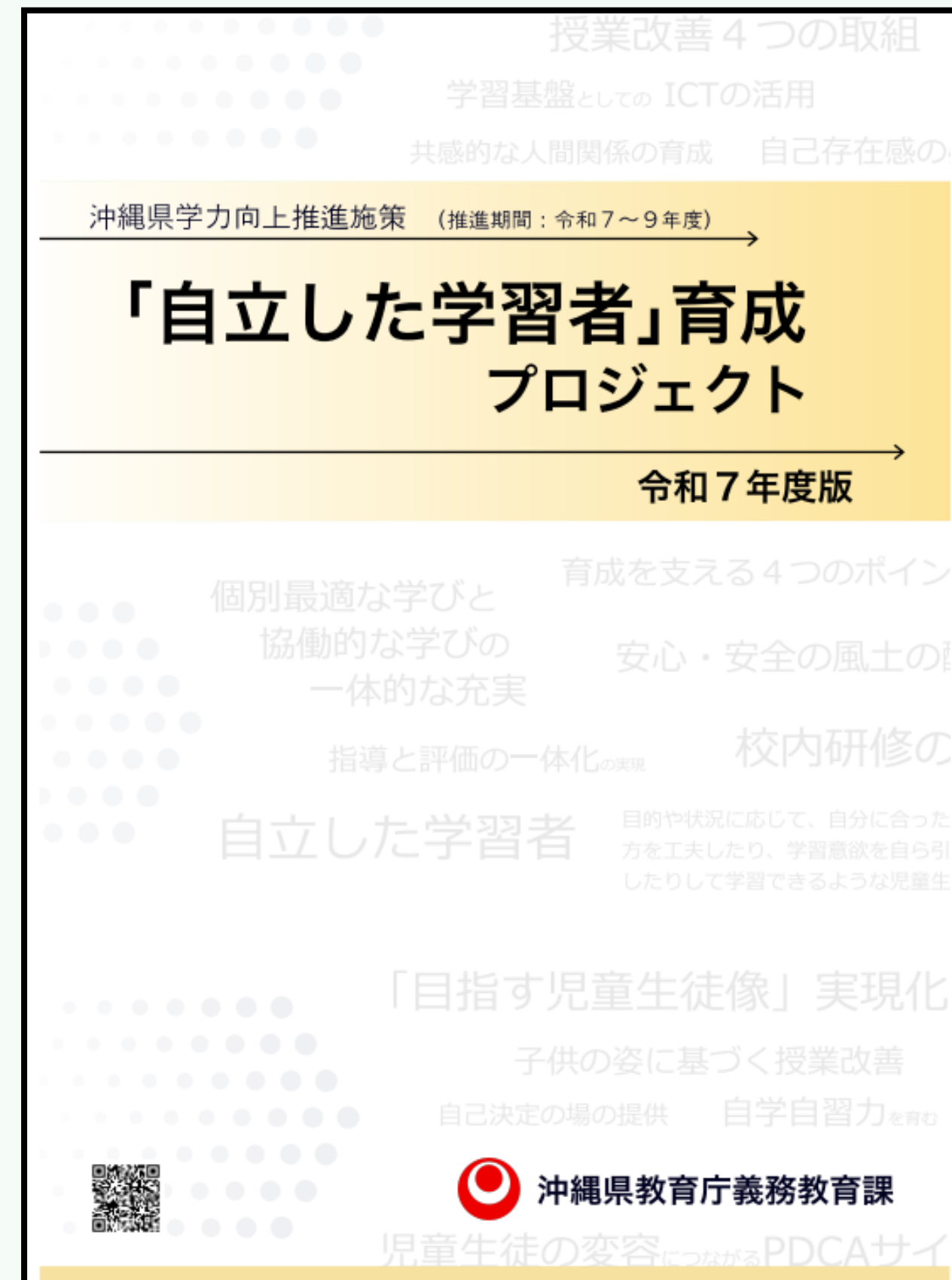
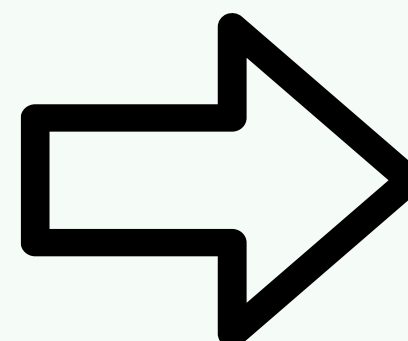
2 取り組みの重点

3 ゆたかっ子の課題

4 年間計画

5 お知らせ

#1 ゆたか小 学力向上推進の目標



1 ゆたか小 学力向上推進の目標

自立した学習者

目的や状況に応じて、自分に合った学び方を工夫したり、学習意欲を自ら引き出したりして学習できるような児童生徒

成果指標

子供の姿に基づく授業改善

授業改善4つの取組

各学校の「目指す児童生徒像」やこれまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、以下の4つの取組から選択し、実践を推進しましょう。

「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の
一体的な充実

「学習基盤としての
ICT」の活用

「指導と評価の
一体化」の実現

「自学自習力」を
育む取組の充実

育成を支える4つのポイント

自己存在感の感受 共感的な人間関係の育成
自己決定の場の提供 安全・安心な風土の醸成

令和7年度共通実践事項
(取組の重点)

2つの共通実践

- ◎ 児童生徒の変容につながるPDCAサイクルの確立
- ◎ 「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修の充実

全体版はこちら



令和7年度ゆたか小学校グランドデザイン（全体構想図）

全教職員参画の学校経営

教育目標



ゆめに向かって たくましく がしこく生きるゆたかっ子の育成

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

～自他を尊重し 情報を収集、比較・整理し 最適解を見いだそうとする児童～

第1期

出会い・希望
めあて・見通し

児童が主語の学校

第4期

成長・感謝
振り返り

次へつながるR-PDCAサイクル

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

認め合う学級風土づくり

自他を尊重	情報を収集、比較整理	最適解を見いだす
○自分を肯定する。 ○自分の意見や考えを持つ ○他者を肯定し、意見や考えを尊重	○自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って	○自分なりの最適解を見いだし、 ○行動する
○共感的な人間関係と支持的風土のある学級経営（GJ、アセスの活用） ○わからないと伝える、失敗しても再挑戦できる風土 ○子供が主体的に企画運営する特別活動（学校行事、委員会活動、学級活動等） ○互いのめざしを認め合う人権教育 ○どこでもだれでも一貫した特別支援教育 ○命を守る危機回避能力を養う安全教育 ○ICT機器の知識・技能の習得	○学習に向かう姿勢 ○自己肯定感を高める支援・指導 ○教科等横断的に能力ある教育課程の工夫 ○わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 ○授業指導（吉の憲たいむ）の充実 ○主体的・対話的で深い学び（協働的な学びと個別最適な学び） ○学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 ○効果的にICT機器を活用した学び	○生徒指導の実践上の視点（4つ）を活かした授業づくり、教育活動 ○自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成 ○自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成 ○見通しをもって課題解決に向かう授業づくり ○振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながる授業づくり ○学びが将来に役立つことを実感する授業づくり（キャリア教育の視点、キャリアパス活用） ○自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み ○SDGsの視点を取り入れた授業づくり

学び・仲間・地域とつながる

単元・授業のマネジメント

第2期

挑戦
自力解決

授業・体験活動・行事で育てる

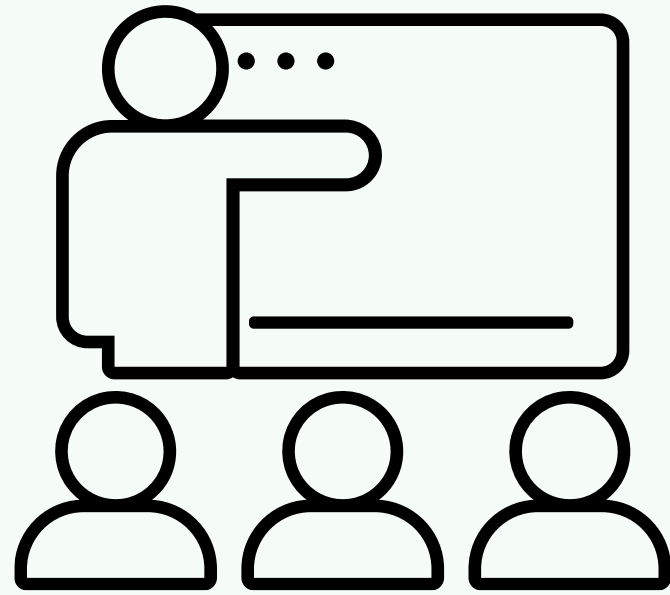
第3期

協働
対話

和顔愛語：支持的風土に満ちた居心地のよい学級づくり

率先垂範：教師は最大の「教育環境」

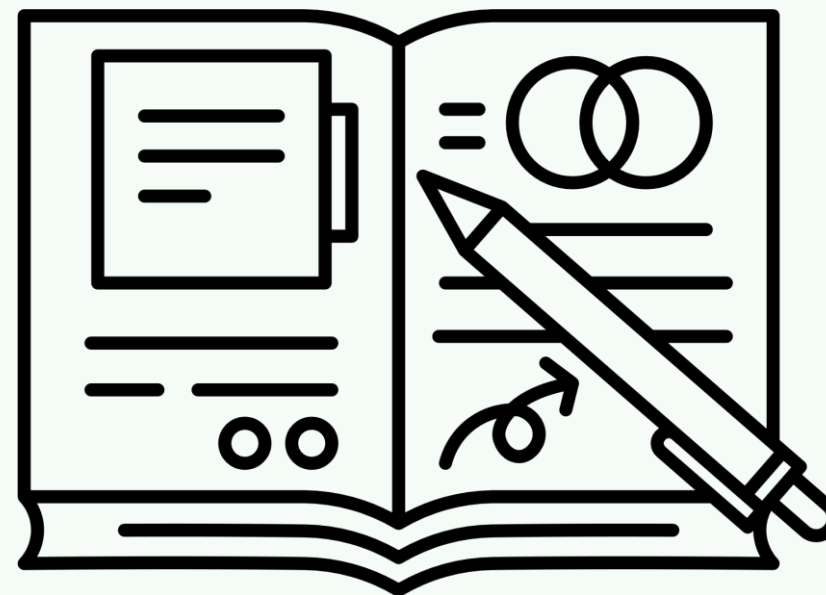
#2 取り組みの重点



ウェルカム授業



校内研究を中心に、児童に『確かな学力』を身につけさせる実践と情報の共有で授業力の向上を目指す。



家庭学習



児童の基礎基本的な学習の定着を図る「宿題」と、児童が学びたいことを追求する「自主的な学習」で、自立した学習者の育成を目指す。



ゆたかスタンダード



授業や学校生活での基本的な姿を児童と共有することで、児童の主体的な学びをサポートする。

#2 取り組みの重点

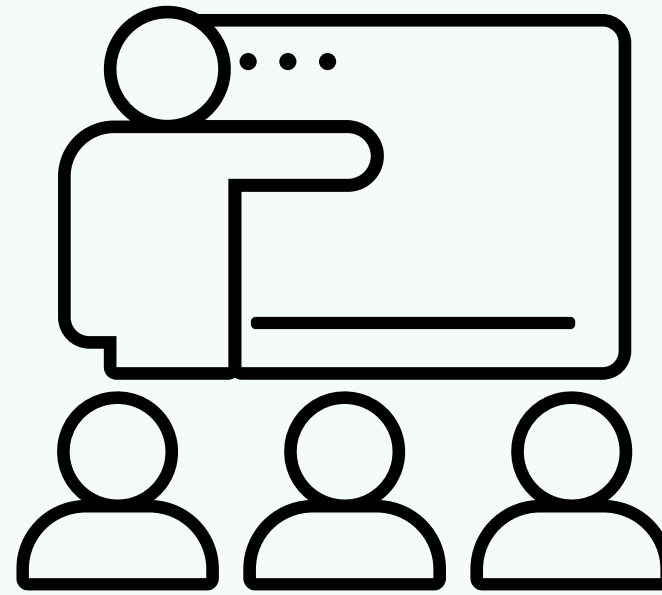
ICT活用

自己調整学習

自由進度学習

シンキングツール

個別最適&協働的な学び



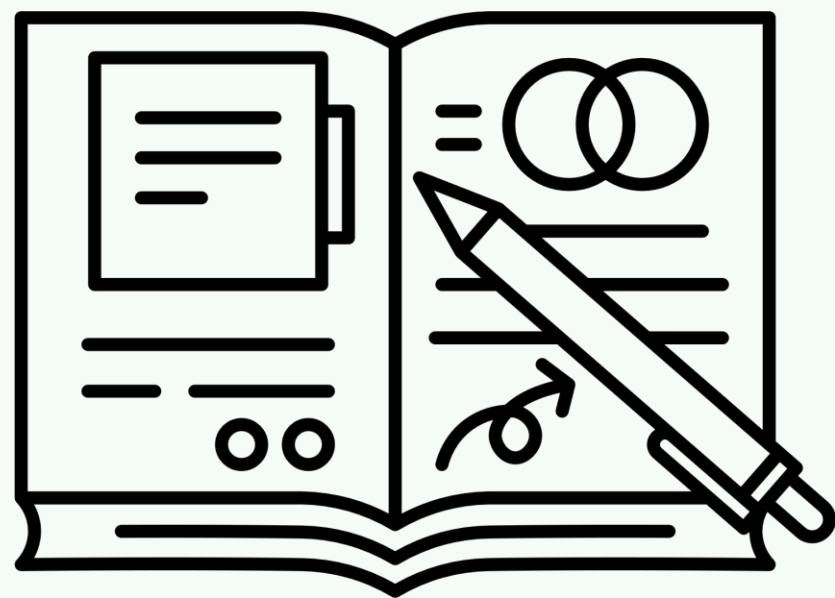
ラーニングマウンテン

特別支援教育

ウェルカム授業

1人 1授業 2参観

#2 取り組みの重点



家庭学習

中・高学年

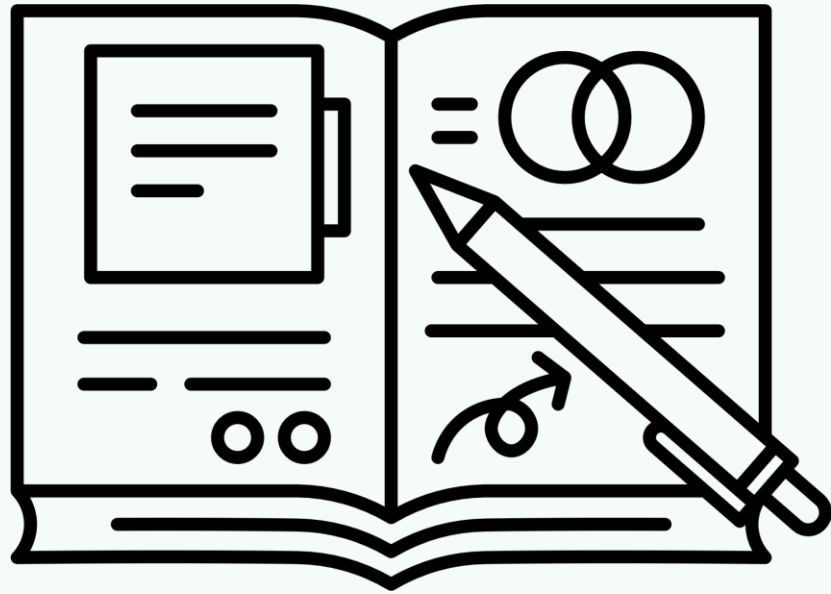
自主学習

児童の「学びたい」を後押し
(学習・探求の記録)

宿題

基礎基本的な学力の定着を目指す
(ノート・ドリル・プリントなど)

低学年



家庭学習

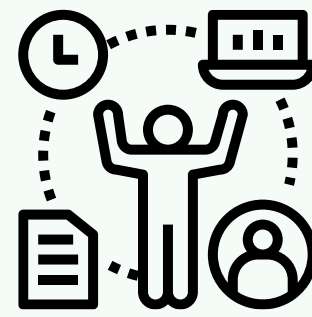
自主学習

- 教科・探求・特技・将来の夢
- 子ども達のがんばりを賞賛
- 学習の種などを提供

宿題

- 授業の予習・補習・復習
- 教師がしっかり見取る
- 必要な時に、必要な内容、適切な量

#2 取り組みの重点

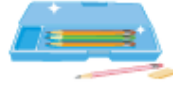
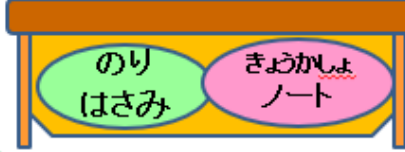
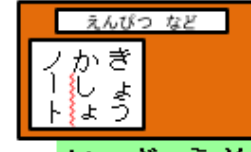


ゆたかスタンダード

学校生活のベース 児童の実態にあわせて



令和 ゆたかスタンダード

とうこう中	あいさつ 相手の目を見て 進んであいさつをしよう！ 
とうこう後	ふでばこ ①けずった2Bのえんぴつ(5本) ②赤・青えんぴつ ③けしゴム ④ネームペン ⑤じょうぎ ※学年によって変更もあり 
	つくえの中 右:きょうかしょ・ノート・下じき (じかんわりじゅん) 左:のり・はさみ・クーピー クレヨン・ものさし (せいりせいとん) 
じゅぎょう前	つくえの上 ふでばこは、つくえの中へしまう  えんぴつ など ノートは左へ ノートは右へ じゅぎょう前 じゅぎょう中 右まきの子
	ベルスタート チャイムとどうじに、 せきについてもくそう 

すわりかた

 きちんと上ばきをはく
りつよう(こしぼねを立ててすわる)


せきを立つ

 つくえの中にイスを入れる

へんじ

 「はい」「いいえ」をはきはきと

聞きじょうず

 あ…あいてを見て
い…いっしょうけんめい
う…うなずきながら
え…えがおで
お…おわりまで

話しじょうず

 か…かんたんな文で
き…聞こえる声で
く…口を大きくあけて
け…けっしていそがず
こ…言葉づかいをていねいに


ノートのつかいかた

 ①月日、ページを書く
②じょうぎをつかう ③見やすく、ていねいに


かていがくしゅう

3 ゆたかっ子の課題

全国・学力学習状況調査正答率

	国語	算数
ゆたか小	7 1 %	6 4 %
全国	6 7 . 7 %	6 3 . 4 %
沖縄県	6 6 %	5 8 %

- 【国語】
- 複数の情報を理解し,必要な情報を選択した上で表現する
 - 必要な情報を整理する
- 【算数】
- 必要な情報を整理する
 - 論理的に説明する

苦手

課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組む

学力テスト

4月17日	全国学力学習状況調査・・・6年国算理 豊見城市学力標準調査・・・5年国算理 4年算 3年国算 2年算
4月25日	学びの確かめテスト・・・4年/5年国算(CBT)
11月～12月	沖縄県到達度調査・・・5年/6年 国算

① ゆ 夢にむかって
② た たくましく
③ か かしこく 生きる
ゆたかっ子



ゆたか小学校 自学のてびき

☆家庭における自学自習において目指す姿

低学年	中学年	高学年
・学校の宿題ができる。	・学校の宿題が <u>確実に</u> できる。	・ <u>計画的に</u> 自学に取り組むことができる。
・宿題以外の自主的な学習が <u>少しずつ</u> できる。	・宿題以外の自主的な学習に <u>取り組むことができる</u> 。	・自分の課題に <u>気付き、どんなことに取り組むかを考え学習することができる</u> 。
・ <u>少しずつ</u> 自分で答え合わせができる。	・自分で答え合わせができる。	・自分で答え合わせができる。

【1・2年生】⇒ 基本的な学習習慣を身につける

- ① 先生から出されたプリントやドリル
- ② お手本帳を使って、がんばりノートに取り組む
- ③ 自分でやってみたい内容を自学ノートに取り組む

【3・4年生】⇒宿題以外の自主的な学習に取り組むことができる

- ① 先生から出されたプリントやドリル
- ② 自主的な学習を自学ノートに取り組む(自学自習)
「いつやるか、何をやるか」を自分で決めて取り組む

【5・6年生】⇒自ら計画を立てて、自主的な学習に取り組むことができる

- ① 先生から出されたプリントやドリル
- ② 自主的な学習を自学ノートに取り組む(自学自習)
1週間の計画を立て、学習方法(予習、復習、調べてみたいこと)を考えて取り組む。
「いつやるか、何をやるか、自分の力に合っているか」などを確認しながら進める。

【全学年】(自学ノート)

めあてを決めてスタート

- 今日は「何を勉強するのか」「どのように勉強するのか」を自分で決めて取り組む。
- ノートにめあてを書く。
「漢字のとめ、はねをしっかりと書く」「分数のかけ算で約分ができる」「□をつかった計算ができる」「めだかのおすめすの区別がわかる」など・・・

ふり返りを書いてゴール

- めあてに対して自分のがんばりや取り組みはどうだったかふりかえる。
「漢字のとめやはねに気をつけて書くことができたので、次はその漢字を使って文をつくりたいです」
「図鑑を使って調べたので、インターネットで検索するよりも詳しくわかりました」など・・・
- ノートの最後に「ふりかえり」を書く。

勉強した時間を書く

- 勉強時間を書くことでどのくらい学習したのか、内容とみあっているかを確認する。
例 4:00～4:40(40分)など全体的な時間を書く
例 漢字(10分)、宿題プリント(10分)、自分で考えた問題(20分)、など時間配分を書く。